

安心・活力・発展プラン2015

ともに築こう大分の未来

～ 2020改訂版 ～



大分県

[表紙]

題名：[旦]^{たん}(1977年制作)

作者：宇治山 哲平

明治43年(1910年)～昭和61年(1986年)

大分県日田市出身

「大分県立美術館所蔵」

編集・発行 大分県企画振興部政策企画課

〒870-8501 大分市大手町3丁目1番1号

T E L : 097-506-2031

F A X : 097-506-1722

E-mail : a10111@pref.oita.lg.jp

安心・活力・発展プラン2015

ともに築こう大分の未来～2020改訂版～

皆さんとともに築く「安心・活力・発展」



今般、大分県長期総合計画「安心・活力・発展プラン2015」を改訂しました。この計画は、当初、平成27年に策定しましたが、国内外の諸情勢が目まぐるしく変化する中、10年間としている計画期間の折り返しにあたり、時代の潮流を的確に捉え、大分県の未来を切り拓いていくため、抜本的な見直しを行いました。

私は、「県民中心の県政」を旨としており、今回の計画づくりに際しても、各分野の第一線で活躍される59名の方々からなる中間見直し委員会を設け、延べ18回にわたり熱心な議論をいただきました。また、パブリックコメント等でも多くのご意見・ご提言をいただくなど、県民の皆様からの多様な意見を幅広く取り入れ、県民の求めるもの、幸せの実現のために、最良のものに仕上げたつもりです。

今回の改訂版では、「大分県版地方創生の加速前進」「先端技術への挑戦」「強靱な県土づくり」を柱に、関係施策を着実に進めていくこととしています。今、最大の課題である少子高齢化・人口減少になんとか歯止めをかけるため、市町村等とも手を携えて、あらゆる対策を講じながら、「安心・活力・発展」の大分県づくりを目指します。また、思いもかけなかった新型コロナウイルス感染症の世界的な流行は、社会・経済に大きな変化をもたらしつつあります。これにも柔軟に対応していかなければなりません。

県民の皆様には、この計画をご自分のものとして、目標の実現に向け、ともに汗を流していただくようお願いいたします。「夢と希望あふれる大分県」を一緒に築いていきましょう。

令和2年(2020年)6月

大分県知事 **大瀬 勝貞**

計画の性格・役割

この計画は、県行財政運営の長期的、総合的な指針を示したものであり、県民と行政が目指すべき目標を共有し、その実現に向けてともに努力する内容を明らかにするものです。

計画の期間

計画の期間は、平成27年度(2015年度)を初年度とし、令和6年度(2024年度)までの10年間とします。

計画の進行管理

毎年、基本計画の施策ごとに目標達成度などを測定する行政評価を行うとともに、県民の参画によるフォローアップの委員会を設けて、計画の進行管理を行います。

「安心・活力・発展プラン2015」の構成

時代の要請

○大分県版地方創生の加速前進

・少子高齢化・人口減少に正面から向き合い、減少カーブを緩やかにし、歯止めをかけ、地域の持続的な発展を目指す

○先端技術への挑戦

・第4次産業革命がもたらす先端技術の波に乗り、地域が抱える様々な課題の解決や新たな産業の創出を図る

○強靱な県土づくり

・近年、頻発化する大規模な自然災害を踏まえた抜本的な治山・治水対策を実施するとともに、地震・津波対策を推進

〈重要な指標〉

・合計特殊出生率
・出生数
・人口の社会増減

【基本目標】

県民とともに築く「安心」「活力」「発展」の大分県

- 健やかで心豊かに暮らせる安心の大分県
- いきいきと働き地域が輝く活力あふれる大分県
- 人を育み基盤を整え発展する大分県

◇県民が主役 ◇県民の多様な価値観の尊重 ◇県民の発想と活動の支援

【分野別政策 21政策 60施策 99指標】

- #### 安心
- 一人ひとりの子どもが健やかに生まれ育つ温かい社会づくりの推進
～子育て満足度日本一の実現～
 - 健康長寿・生涯現役社会の構築
～健康寿命日本一の実現～
 - 障がい者が安心して暮らせる社会づくりと障がい者雇用率日本一の実現
 - 恵まれた環境の未来への継承
～おおいとうつくし作戦の推進～
 - 安全・安心を実感できる暮らしの確立
 - 人権を尊重し共に支える社会づくりの推進
 - 多様な主体による地域社会の再構築
 - 強靱な県土づくりと危機管理体制の充実
 - 移住・定住の促進

[9政策 27施策 46指標]

- #### 活力
- 挑戦と努力が報われる農林水産業の実現
 - 活力と変革を創出する産業の振興
 - 地域が輝くツーリズムの推進と観光産業の振興
 - 海外戦略の推進
 - 大分県ブランド力の向上
 - いきいきと、多様な働き方ができる環境づくり
 - 女性が輝く社会づくりの推進
 - 活力みなぎる地域づくりの推進

[8政策 17施策 29指標]

- #### 発展
- 生涯にわたる力と意欲を高める「教育県大分」の創造
 - 芸術文化による創造県おおいとの推進
 - スポーツの振興
 - 「まち・ひと・しごと」を支える交通ネットワークの充実

[4政策 16施策 24指標]

安心

1 一人ひとりの子どもが健やかに生まれ育つ温かい社会づくりの推進 ～子育て満足度日本一の実現～

男性の子育て参画の推進や地域における子育て支援、仕事と子育ての両立支援など、社会全体で子育てを応援するための環境づくりや、出会いから結婚・妊娠・出産・育児への切れ目ない支援とともに、児童虐待の未然防止・早期対応、子どもの貧困対策、ひとり親家庭・障がいのある子どもと家族へのきめ細かな取り組みなどにより、一人ひとりの子どもが健やかに生まれ育つ温かい社会づくりを推進します。

- ・子育て満足度日本一の実現を目指します。



認定こども園の園児たち

2 健康長寿・生涯現役社会の構築 ～健康寿命日本一の実現～

県民参加型の健康づくり運動の展開や効果的・効率的な保健事業（データヘルス）の推進による生活習慣の改善など、健康を支える社会環境の整備に取り組むほか、高齢者の生きがいづくりや自立支援型ケアマネジメント、認知症施策の推進、さらには地域で安心して質の高い医療サービスを受けられる体制の充実・強化などにより、健康長寿・生涯現役社会の構築を進めます。

- ・健康寿命日本一の実現を目指します。



事業所ぐるみで取り組む「健康経営事業所」

3 障がい者が安心して暮らせる社会づくりと障がい者雇用率日本一の実現

障がいと障がい者に対する県民理解の促進やグループホームなどの住まいの場の確保、芸術文化・スポーツを通じた社会参加の推進など、障がい者が身近な地域で安心して自立した生活を継続して送るための取り組みとともに、障がいの特性に応じた仕事とのマッチングや就業面と生活面の一体的な支援による職場定着の推進、工賃向上のための共同受注体制の強化など、障がい者が安心して暮らし働ける社会づくりを推進します。

- ・障がい者雇用率日本一の実現を目指します。



選果場で働く障がい者

4 恵まれた環境の未来への継承 ～おおいたうつくし作戦の推進～

生物多様性や自然環境の保全と適正利用につながる取り組みや、3Rの推進、循環産業牽引企業の育成など、循環型社会づくりとともに、地球温暖化対策や環境教育などを推進し、地域活性化型の環境保全活動として「おおいたうつくし作戦」を進め、美しく快適な大分県を実現します。

- ・県民一斉おおいたうつくし大行動参加者数年間40万4千人を目指します。



祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク自然体験

5 安全・安心を実感できる暮らしの確立

県民をはじめ企業などとの協働による犯罪に強い地域社会の確立や人に優しい安全で安心な交通社会の実現に取り組むほか、消費者の安心の確保、人と動物が共生する社会の実現、食の安全・安心の確保、健全な食生活と地域の食を育む食育の推進などにより、県民が安全に安心して暮らせる社会を実現します。

- ・刑法犯認知件数年間2,850件以下を目指します。



自主防犯パトロール隊との協働による児童の見守り活動

6 人権を尊重し共に支える社会づくりの推進

人権尊重社会の実現を図るため、様々な差別の解消に向けた人権教育や啓発、人権問題に関する相談・支援・権利擁護などの施策を総合的に推進するとともに、女性に対する暴力の予防や性犯罪被害者支援体制の充実、男女共同参画実現に向けた取り組みなど、人権を尊重する環境づくりを進めます。

- ・人権問題専門研修受講者数2,000人を目指します。



人権啓発フェスティバル

7 多様な主体による地域社会の再構築

多世代交流や住民相互の支え合い活動の推進などによる、だれもがともに支え合い、人と人とのつながりを感じながら安心して暮らすことのできる地域共生社会の実現に取り組むとともに、小規模集落対策の推進や集落同士が機能を補い合うネットワーク・コミュニティの構築などを進めるほか、地域課題の解決に取り組むNPO・ボランティアの育成・活動支援（中間支援）や協働に向けた支え合いの仕組みづくり、県民理解・参加の促進を図ります。

- ・高齢者、子育て家庭等、多世代交流・支え合い活動の実施
主体数452組織を目指します。



小規模集落応援隊による海岸清掃

8 強靱な県土づくりと危機管理体制の充実

抜本的な治水対策等による県土の強靱化や自主防災組織の活性化、防災教育・訓練の充実、救助・救援体制の確保など、自助・共助・公助の取り組みを進めるとともに、新型コロナウイルス等の感染症や家畜伝染病の発生・まん延の防止を徹底します。

- ・近年の豪雨実績を反映させた治水対策着手箇所数22箇所を目指します。



玉来ダム完成予想図

9 移住・定住の促進

UIターンを促進するため、地域の居住環境や魅力の情報発信を強化するとともに、移住の受け皿となる仕事づくりや移住後の定着に向けた移住者へのフォローアップ、大学生等若者の県内定着やUターンの促進に取り組みます。

- ・移住促進策による移住者数年間2,700人を目指します。



東京で開催した移住相談会

1 挑戦と努力が報われる農林水産業の実現

魅力ある、もうかる農林水産業の確立に向け、経営力のある担い手の確保・育成から生産基盤の整備、マーケットインの商品づくり、国内外の流通対策までを全体として見通した上で、①水田の畑地化による高収益な園芸品目等への生産転換、②全国トップレベルの肉用牛産地づくり、③循環型林業の確立による林業・木材産業の成長産業化、④水産業の資源管理の強化と成長産業化、⑤スマート農林水産業の実現を重点に構造改革をさらに加速させます。

- ・農林水産業による創出額年間2,650億円を目指します。



水田の畑地化による大規模園芸産地づくり

2 活力と変革を創出する産業の振興

中小企業・小規模事業者の持続的発展に向けた伴走型支援や創業支援の強化、サービス産業の生産性向上支援、先端技術を活用した地域課題の解決や新ビジネスの創出、大分県版第4次産業革命「OITA4.0」を支える人材育成、戦略的な企業立地の推進と地域の強みを生かす産業集積の深化等による産業振興を図ります。

- ・IoT等のプロジェクト事業化件数年間20件を目指します。



遠隔操作ロボット「アバター」を活用した社会見学

3 地域が輝くツーリズムの推進と観光産業の振興

多様化する旅行ニーズに応じた国内誘客と、アジアから欧米・大洋州までウイングを広げた海外誘客を加速させるとともに、観光関連企業の経営力強化を通して、本県観光産業を稼げる産業、変化に強い産業へと転換していきます。

- ・県内宿泊客数年間783万人を目指します。



外国人観光客向けガイド付き釣り体験

4 海外戦略の推進

海外の活力や人材を取り込み、ものづくり産業や農林水産物・加工品、海外誘客など、分野別にターゲットとなる国・地域を定めた海外戦略を展開するとともに、海外展開の基盤となるネットワーク強化や、留学生の県内定着に向けた就職・起業支援、外国人労働者の受入環境の整備など、多文化共生社会の構築を図ります。

- ・海外展開企業数150事業所を目指します。



大分県海外プロモーション

5 大分県ブランド力の向上

「おんせん県おおいた」のイメージを生かしつつ、大分県の食や自然、文化などの様々な魅力について、デジタルマーケティングの活用や県民総参加型広報の展開などにより、効果的に情報を発信することで、大分県のブランド力向上を図ります。

- ・地域ブランド調査全国12位を目指します。



海外向け大分県 PR 動画

6 いきいきと、多様な働き方ができる環境づくり

誰もがいきいきと活躍できるよう、働きやすい環境の整備を進め、多様な働き方を可能にする「働き方改革」を推進するとともに、若年者の県内就職や多様な人材の活躍促進に向けた支援などを行うことにより、人材の確保・育成を図ります。

- ・15～69歳就業者数498,400人を目指します。



技術を学ぶ訓練生（大分高等技術専門校）

7 女性が輝く社会づくりの推進

働く場をはじめ、あらゆる分野での女性の活躍を推進するため、固定的な性別役割分担意識など、女性が感じる生きづらさを解消し、男女がともに責任を分かち合う環境づくりを進めるとともに、安心して子どもを生み育てながら働けるよう、官民が連携して柔軟な働き方の導入や職場環境の整備などを行い、すべての女性が輝き活躍できる社会を目指します。

- ・女性が輝くおおいた推進会議の女性活躍宣言企業数230社を目指します。



次世代女性リーダー養成セミナー

8 活力みなぎる地域づくりの推進

地域資源や歴史・文化、地理、地質などの地域の特徴を活用した新たな取り組みや、芸術文化の創造性を生かした地域づくりなどを支援するとともに、地域の担い手の確保・育成、空き家の利活用などにより、魅力的な地域づくりを推進します。

- ・地域活力づくり取組件数1,800件を目指します。



ラグビーワールドカップに合わせた地域の魅力発信（源流太鼓）

（特徴ある地域づくり）

県内各地域で、地域資源を活用し特徴を生かした産業振興や仕事づくりに取り組みます。



東部地域

（別府市、杵築市、国東市、姫島村、日出町）

- 時代の変化に対応する農林水産業の創出
- 地域資源を生かした観光の推進と地域の活力向上
- ネットワーク・コミュニティの構築と移住・定住の促進
- 進出企業へのフォローアップの強化



生産拡大を目指すキウイフルーツ

中部地域

（大分市、臼杵市、津久見市、由布市）

- 芸術文化の創造性やスポーツの活力を生かした魅力あるまちづくりの実現
- 地域特性を生かした観光振興による交流人口の増加
- 地域の特徴を生かした力強い経営体の育成と地域ブランドの確立
- 特色ある地場産業を担う人材の確保・育成



保戸島の食の祭典「VICOLO 保戸島つまみ食い路地」

南部地域

（佐伯市）

- 全国トップレベルの養殖業の経営強化
- 循環型林業の推進と高品質乾燥材の安定供給体制の確立
- もうかる農業生産体制の確立
- 地域の自然、文化、食などを生かしたツーリズムの推進
- 九州一広い街・浦・里の安全・安心なまちづくり



赤潮防除効果も期待される一粒カキ（シングルシードオイスター）の養殖

豊肥地域

(竹田市、豊後大野市)

- 競争に打ち勝つ農業経営体の育成と新たな担い手の確保
- 山間地域の経済を支える林業の担い手の確保・育成
- 豊かな地域資源を生かした新たな誘客促進
- 高原や温泉を活用した産業の振興
- 郷土芸能や特産品など地域の特徴を生かした地域づくりの推進



用作公園で舞う夜神楽「水鏡」

西部地域

(日田市、九重町、玖珠町)

- 地域経済を支える林業・木材産業の振興
- 飼養環境に恵まれた畜産の振興
- 地域の強みを生かした農業の振興
- 地域の資源を生かした交流人口の拡大と滞在型観光の推進
- 集落機能を維持するためのネットワーク・コミュニティづくりの推進



奥日田の自然を活用したアクティビティ

北部地域

(中津市、豊後高田市、宇佐市)

- 地域の特性を最大限に生かした第一次産業の振興と6次産業化の推進
- 集積する自動車関連企業のさらなる競争力強化に向けた支援
- 地域固有の旅体験で人を呼び込む観光の振興
- 地域コミュニティの活性化に向けた取り組みの支援



滞在型観光の拠点となる長崎鼻

1 生涯にわたる力と意欲を高める「教育県大分」の創造

未来を切り拓く力と意欲を身に付けさせる教育の推進や、世界に通用する「グローバル人材」の育成、いじめ・不登校対策の充実・強化、学校・家庭・地域との協働など、学校教育の充実と生涯を通じた学びを支援するとともに、青少年の健全育成やひきこもり支援、多様な行政課題の解決に向けた大学等との連携を進めます。

- ・全国に誇れる教育水準の達成を目指します。



タブレット型端末を活用した授業

2 芸術文化による創造県おおいたの推進

多彩な芸術文化に親しむ機会の充実、芸術文化の魅力発信強化、芸術文化ゾーンと文化施設、アート系NPO等との連携など、芸術文化の創造性を生かした行政課題への解決に取り組むとともに、文化財の保存・活用に関する総合的な施策の推進など、計画的な文化財・伝統文化の保存・活用・継承を進めます。

- ・県立美術館入場者数年間50万人を目指します。



第33回国民文化祭・おおいた2018、第18回全国障害者芸術・文化祭おおいた大会

3 スポーツの振興

ライフステージに応じたスポーツの推進や県立スポーツ施設の整備等による県民スポーツの推進、ジュニア期からの一貫指導体制の確立や競技力を支える人材の養成等による世界に羽ばたく選手の育成のほか、国際スポーツ大会の誘致やラグビーワールドカップ2019のレガシー継承など、スポーツによる地域の元気づくりを進めます。

- ・国際大会出場者数年間60人を目指します。



県内企業への就職支援により世界を目指す本県アスリート

4 「まち・ひと・しごと」を支える交通ネットワークの充実

本県が九州の東の玄関口として、人や物の流れを増やしていくため、フェリー航路、航空路線などの広域公共交通ネットワークの充実や、港湾・空港などの拠点施設の機能強化を図るとともに、広域道路交通網整備や東九州新幹線整備計画路線格上げの取り組み、産業や生活を支える道づくり、快適な都市空間の形成など、まち・ひと・しごとを支える基盤を整備します。

- ・フェリー・航空輸送人員年間390万人を目指します。



庄の原佐野線（下郡工区）の完成予想図